

吉野川河口干潟 S!O!S!

せめておとな 10人以上のご参加がほしいです。

青ガニを守ろう！干潟のクリーンアップ

- 日時：4月14日（日）10:00～12:00 少雨決行
- 場所：吉野川河口住吉干潟*（徳島市住吉4・南岸グランド東詰）
- 主催：とくしま自然観察の会 & 吉野川ひがたファンクラブ
- 参加：小学生以上 100円（保険代）
- 持ち物：長靴（厚底のがよいです）、厚手の手袋、あれば掃除用具、よごれてもよい服装、帽子、タオル、各自飲み物
- 問合せ：（とくしま自然観察の会）kansatsunokai@gmail.com



Photo : seiji coda

吉野川河口の住吉干潟では、春からはさまざまな干潟の生物、夏には、青い米粒サイズのシオマネキの稚ガニが観察できます。こんな素敵な場所はきっと他にはありません。そんな場所を脅かしている大量の漂着ゴミをクリーンアップして青ガニたちの生息地を守りましょう。

ヨシの芽吹きや干潟の生物たちの本格的な活動が活発になる前に、4月中に掃除を始めたいと思います。

せめておとな 10人以上ほしいです。（現在 4人）
ひとりでも多くの方のご参加お待ちしております。



去年秋の大型台風の置き土産??? 大量の漂着ゴミ。何度か撤去を試みましたが、まだまだ残っています。これまで最悪のシオマネキシーズン幕開け環境となってしまいました。

このまま、大量の枯れたヨシ片や流木を放置していると、干潟の地面が高くなって、これまで川の水が届いていた石垣護岸周辺の生物の生息環境が乾燥化して環境が変化し、シオマネキ、クシテガニ、トビハゼ、巻貝など様々な干潟の生物が生息できなくなります。吉野川河口の他の干潟でも漂着ゴミによって、底質が乾燥化してシオマネキが激減した場所もあります。



泥干潟～ヨシ原～石垣護岸へと移行するエコトーンは、シオマネキの稚ガニが安心して生息できる穏やかな環境。シオマネキ、トビハゼ、クシテガニ、ゆっくり歩きたくさんの巻貝たち。足元で干潟のドラマを見ることができます。

そんな場所に、大量のヨシ片や流木がふたをしているような状態。このままだと、貧酸素状態や、富栄養によるヘドロ化をまねき、ヨシ原を倒したりして、干潟環境への悪影響が心配されます。

なんとか、せにゃ、なんとかしたいと思います。